

偲ぶ心——在りし日に想いを馳せ、和みのとき

格式ある日本料理と、きめ細やかな心配りで、ご法要の集いをお手伝い致します。

ご法要会席膳

五、〇〇〇円 六、〇〇〇円 七、〇〇〇円 八、〇〇〇円



■写真は8,000円のコース料理です

- ◆お一人様・税・サービス料別
- ◆お料理の内容は、季節により異なります
- ◆ご予算に応じてご用意しますので、お気軽にご相談下さい

イス・テーブル形式、座卓形式、お膳形式など、
当館ではご要望に応じた宴会場をご用意しております。



仏事豆事典

◆仏式(法要)

初七日を終えたところで、お世話になった人達に感謝と慰労の意味を込めて、肉・魚を主体とした「精進落とし」でおもてなしをします。四十九日までの初七日、五七日、七七日は、特に大切な忌日とされ、故人と親しかった人を招き、法要を営んだ後、おもてなしをするのが一般的です。法要は、少なくとも三回忌までは、命日より遅らせてはいけません。1年のうちに2つ以上の年回供養が重なる場合は、「合斎」「併修」といい、まとめて法要ができます。

◆神式(霊祭)

十日目毎に祭祀を行い、十日祭と五十日祭に近親者や親しい人を招いて、神官に祭詞をあげてもらいます。五十日祭の翌日から平常に戻るとされ、いわば五十日祭が仏式の忌明けですから、この時に招いた方へ飲食のおもてなしをします。後は一年祭、二年祭、三年祭、五年祭、七年祭と続き、五十年祭までは10年毎に行います。

◆キリスト教

カソリックは追悼ミサといい、一般的には一ヶ月目に近親者や友人などが参列して教会でミサを行い、そのあと別室でお茶の会を催し、故人を追悼します。プロテスタントでは記念式といい、一ヶ月後が召天記念日で、この日に記念式を行います。記念式は自宅か教会で牧師を招いて祈り、そのあと追悼茶話会を開くのが一般的です。



マイクロバスでの
送迎サービスも、
ご利用頂けます。

- 地下鉄/千種駅下車④出口 徒歩10分
- J R/中央線「千種」駅下車 徒歩10分
- 市バス/名駅-千早下車 徒歩7分(名駅17)
- 栄-千早下車 徒歩7分(栄17)
- 栄-千種本町下車 徒歩3分(栄16)

心も、体も、ゆったりと、都会で味わう温泉気分。



日本観光旅館連盟・名古屋市ホテル旅館観光連盟

料理旅館 **わたなべ**

〒464-0858 名古屋市千種区千種2-1-17 (旧サッポロビール工場北門前)

TEL <052> 731-2501 (代) FAX <052> 732-1855

URL <http://www.rr-watanabe.jp>

E-mail info@rr-watanabe.jp